人英文法超基础(6)〉 Lv.★★★公公 对象:中2·3~
1 but
① A but Bで「1. 」「2. 」の意味になり、語・句・節を結びつけ、前で述べた内容と反対のことが後ろにくるが、意味の重点は Bにある。
I went to see ken, but he was out. 「私はケンに会いにいったが、彼は出かけていた」
② not A(,) but Bで「3. 」の意味になる。 I'm studying not French, but English 「私はフランス語ではなく英語を 勉強している」
② so·for · A, so B: 4. 」「5.  She had a fever, so she went to a hospital. 「彼女は熱があったので、病院へ行った」
・A, for B: 「6.  → forは前で述べたことの理由や判断の根拠を補足的につけ加える。 I feel sleepy, for I stayed up late last night. 「私は眠たい、というのは昨夜、夜更かしをしたからだ」
※ forは改まった表現で、堅い文で使われる。 → 理由を表す接続詞としては (7. )の方が使われる!
$\%$ 50, for の いずれも (8. )では用いられない! $\rightarrow$ 「00だ。たので、 $XX$ だ」という文を作るには、because や $as$ を使う。
3 norについて norは「not+or」で、(9. )+A, nor Bの形で 「10. 」の意味になる。 ∠ 倒置という! → norの後ろに文を作る場合は、(11. )になる!
I don't like cheese, nor does she.

4	and·or·butを使った	主重要表現	I.			
①	(I2 <sub>.</sub>	): "I3.	٠			
	She can speak bot で彼女は英語とフラ	h English ンス語の両	n and Frenc 方話せる」	h.		
2	(14. We can choose <b>ei</b> t	): [15.	ar broad	4		
	Me can choose en 「私たちは ライスかり	mer rice (2のどちら	かを選べる」			
	(16. = (18.	): <sup>r</sup> 17.	)	٠		
	I like neither m					
<b>4</b>	(19.		): <sup>r</sup> 20.		_	
	= (21.	)				
	She can speak not only English but also French.					
	= She can speak 、「彼女は英語だけで					
<u>5</u>	動記の形 both A and B→ Both he and I an	<b>€</b> wrong. [	)扱い 彼と私の両方と	<b>た</b> まちがらて	.කි.	
<b>a</b>	not A but B/not either A or B/r Neither Tom nor 1	only A busineither A	nor B ] nor B ] are here. [t	( <b>23</b> . )に 山も両親もこ	合わせる! にいない」	
3	B as well as A -> You as well as I	(24. ) to . are wro	合わせる! ong. 「私だけで	<b>なく</b> あなた <b>も</b> る	ないたは	